

I

下記の問題文を読んで、設問 X・Y の答をマーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

世界宗教としてのイスラーム（教）は、今日、16億に近い信者数を擁している。その特徴のひとつは、歴史的・政治的・文化的・社会的・地域的な多様性にある。一方、ムスリムと呼ばれる信者たちは、イスラームの信仰共同体である **A** に属しながら、唯一神のアッラーや「最後の預言者＝使徒」としてのムハンマドを信じることはもとより、聖典であるクルアーン（コーラン）やハディース、スンナなどを生活の基本的な規範とし、さらに六信五行を信仰・実践したり、慈善的な **B** を行ったりすることで、イスラーム教徒としてのアイデンティティと一体性を保っている。

だが、イスラームは発展の過程においてさまざまな分裂を繰り返してきた。その発端は開祖ムハンマドが後継者を指名しないまま、西暦632年に没したことにある。彼の没後四半世紀もたたないうちに、だれをムスリム共同体の指導者にするかで内部的な対立が表面化したのである。その結果、ウマイヤ家を出自とする第3代カリフの **C** が、反対派によって暗殺されてしまう。656年のことである。次のカリフとなったムハンマドの娘婿アリーは、当初ウマイヤ家の前シリア総督ムアーウィアと対立したが、やがて妥協する。だが、661年、その妥協に反対してアリーから離れた、**D** 派の一員によって彼もまた暗殺されてしまう。

661年、ムアーウィアがウマイヤ朝を開く。しかし、680年にムアーウィアが他界すると、アリー支持派はアリーの息子フサインをたてて、王朝に反旗を翻す。反乱は失敗してフサインも殺害されるが、これら反ウマイヤ朝勢力はなおも存続してひとつの集団を組織する。こうして生まれたのが、アリーの子孫を自分たちの指導者として、すなわち無謬のイマームとしていただくシーア派である。これに対抗して多数派の親王朝勢力も集団を結成する。彼らはムハンマドの言行である「スンナ」に従うことを重視したことから、スンナ派と呼ばれるようになる。以後、これら2大宗派のいずれかが多数派ないし支配層を占める王朝が各地に生まれ、さらに **E** たちによる法体系の確立やモスクをはじめとする礼拝施設なども徐々に整備されて、イスラームの歴史と文化が形作られていく。その過程で、スーフィズムもまた独自の教団を組織して各地に進出し、神秘主義的イスラームを広めていった。

設問 X **A** ～ **E** に入るもっとも適切な語をひとつ選びなさい。

- |   |   |       |   |        |   |       |   |      |
|---|---|-------|---|--------|---|-------|---|------|
| A | a | ミスル   | b | ウンマ    | c | ズインミー | d | マドラサ |
| B | a | ハラージュ | b | ジズヤ    | c | イクター  | d | ワクフ  |
| C | a | ウスマーン | b | ウマル    | c | ガザーリー | d | タバリー |
| D | a | マワーリー | b | ハワーリジュ | c | マタラム  | d | アミール |
| E | a | スルタン  | b | ワジール   | c | ウラマー  | d | アター  |

設問 Y 下線部 ①～⑤に関する問いに答えなさい。

- ① クルアーン（コーラン）に関する説明として、誤っているものはどれか。
- 大天使ガブリエルを介してムハンマドに下された神の啓示をまとめたもので、全体で114章からなる。
  - クルアーンという語は、アラビア語で「音読されるもの」を意味し、第2代正統カリフの時代に現在の形に編纂された。
  - 構成はメッカ啓示とメディナ啓示とからなる。
  - ムスリムの生活全般の規範となるこの書には、旧約聖書や新約聖書に関する言及もみられる。
- ② 六信五行の内容に関して、正しい説明はどれか。
- 六信とはアッラー、天使、啓典、最後の審判、来世、定命を指す。
  - 六信とはアッラー、聖遷、啓典、預言者たち、来世、定命を指す。
  - 五行とは信仰告白、礼拝、ジハード、断食、メッカ巡礼を指す。
  - 五行とは信仰告白、礼拝、喜捨、断食、メッカ巡礼を指す。

- ③ ウマイヤ朝の説明として、誤っているのはどれか。
- a ウマイヤ家は、ムハンマドが出たハーシム家と同様、クライシュ族の有力一門だった。
  - b バグダードに首都を置いたイスラーム初の世襲王朝で、最盛期には地中海東岸地域を中心として、インドの一部からイベリア半島まで支配した。
  - c 第5代カリフのアブド＝アルマリク時代、アラビア語の公用語化や貨幣の鑄造などによって中央集権化が図られた。
  - d 「アラブ帝国」とも呼ばれた同王朝は、シーア派の反乱に加えて、アラブ兵の部族間抗争や非アラブ人改宗者の不満といった不安定要因を解決できず、750年に滅亡した。
- ④ シーア派ないしスンナ派を主体とする王朝の説明として、正しいものはどれか。
- a ウマイヤ朝を滅ぼしたアッバース朝はシーア派の王朝で、第2代カリフのマンスールは、国内のスンナ派を弾圧した。
  - b シーア派の分派であるイスマーイール派が現在のモロッコで興したファーティマ朝は、10世紀後葉にエジプトを制圧し、やがてアラビア半島にまで勢力を拡大した。
  - c イラン系のブワイフ家が建国した同名の王朝は、シーア派の十二イマーム派を奉じ、現在のイラン・イラク地域を支配下に置いた。
  - d クルド人の武将サラディンがカイロに建てたアイユーブ朝はスンナ派王朝で、サラディンの死後、第2回十字軍を破ってエルサレムを奪還した。
- ⑤ スーフィズムの説明として、誤ったものを選びなさい。
- a イスラーム法の外面的な形式化などへの反発として生まれた思想・運動で、内面的な精神性を重視した。
  - b スーフィーと呼ばれるスーフィズムの実践者たちは、禁欲・苦行を通してアッラーとの一体化を目指した。
  - c 10世紀からつくられるようになったスーフィズムの教団はジャーヒリーヤと呼ばれ、ここを拠点としてスーフィーたちの宣教活動が行われた。
  - d 18世紀に興ったワッハーブ派の運動は、スーフィズムに代表される神秘主義や聖者崇拜などを批判して、イスラームの原点回帰を唱えた。

II

北京の歴史について記す1～3の文章を読み、設問X・Yに答えなさい。

- 1 1949年10月1日、天安門に立つ毛沢東によって建国が宣言された<sup>①</sup>中華人民共和国は、北京に首都を置いた。この地は長い複雑な歴史が展開されたことで知られている。古く戦国時代には( 1 )とよばれて戦国の七雄に数えられる燕の都城として栄え、秦が天下を統一すると、北方の遊牧民に備える軍事基地として、また開発がすすむ遼東方面につながる商業の中心地として重視された。しかし秦漢時代はもとより、<sup>②</sup>隋唐時代においても、この地に統一王朝の首都が置かれることはなかった。
- 2 五代の諸王朝が抗争する時代になると、遼が燕雲十六州を獲得してこの地に副都を置き、つづいて金の統治下では( 2 )と呼ばれ、元にいたってようやく中国全土を統治する国都とされたのである。しかし元を滅ぼした明ははじめ南京を首都とし、この地に遷都して北京と名づけたのは永楽帝である。この皇帝は万里の長城を出てモンゴル高原に親征して( 3 )を攻撃するとともに、鄭和を南海方面に派遣するなど積極的な対外政策を展開した。しかしその後、<sup>③</sup>土木の変を契機として遊牧民の侵攻が激しくなり、さらに沿岸部の倭寇も活発化して明は衰退の道をたどった。このような情況のもと、清の順治帝は明の降将呉三桂が開いた( 4 )を通過して華北に入り、北京を占領した。ついで清は北京を首都として広大な領土を支配して繁栄したが、19世紀後半にいたって<sup>④</sup>アロー戦争で北京は占領され、市内で放火や略奪が横行するなど打撃を受けた。
- 3 辛亥革命ののち、<sup>⑤</sup>袁世凱は北京に政府を置き、列強から巨額の借款<sup>しやうかかん</sup>を獲得して政権の強化をはかったが、帝政宣布を契機として人心の離反が進み、苦悩のうちに病死した。袁の死後、国際的に承認された北京政府の政権をめぐり、欧米列強に支援された( 5 )派の馮国璋や日本が支援する段祺瑞および張作霖らが抗争をつづけた。
- 軍閥が割拠して混乱する中国の統一をめざす蒋介石は南京に国民政府を組織し、北伐を進めて北京政府の実権者である張作霖を北京から追い、その地を占領して北平と改称した。その後、1937年の盧溝橋事件を契機として日本が占領すると北京と改称されるが、日本の敗戦によって北平にもどされ、ついで国共内戦に勝利した中国共産党が中華人民共和国の首都を北京に定めるのである。

設問X 空欄( 1 )～( 5 )に入れるのに最も適切な語をa～eのなかから一つ選び、その符号をマーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- |           |       |       |       |       |
|-----------|-------|-------|-------|-------|
| (1) a 薊   | b 益   | c 羌   | d 郢   | e 氐   |
| (2) a 臨安  | b 大都  | c 汴京  | d 中都  | e 上京  |
| (3) a 吐蕃  | b 党項  | c 回紇  | d 韃靼  | e 鮮卑  |
| (4) a 嘉峪関 | b 函谷関 | c 山海関 | d 大散関 | e 居庸関 |
| (5) a 奉天  | b 直隸  | c 浙江  | d 安徽  | e 満蒙  |

設問Y 下線部①～⑤に関する設問について、最も適切な解答を(ア)～(オ)のなかから一つ選び、その符号をマーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ① 中華人民共和国の説明として誤りを含むものはどれか。
- (ア) その建国時、毛沢東は中央人民政府主席に就任し、周恩来は首相をつとめた。
- (イ) ソ連や東欧諸国の支援のもと、1953年から第1次五か年計画を実施して社会主義化政策をすすめた。
- (ウ) 中国が設置したチベット自治区準備委員会に不満を持つダライ=ラマ14世は、ネパールに亡命政府を樹立した。
- (エ) モンゴル人住民が多い南モンゴル(内モンゴル)の独立をおさえ、自治区として統治下におさめた。
- (オ) カザフ人やウイグル人を中心に建設された東トルキスタン共和国を倒し、新疆ウイグル自治区を置いた。

② 隋唐時代の説明として誤りを含むものはどれか。

- (ア) 隋の煬帝は、黄河流域に位置する現在の開封と北京に近い涿郡を結ぶ永濟渠を完成させた。
- (イ) 隋の文帝は、大興城に首都を置き、選挙（科挙）を創始して貴族勢力を抑え、中央集権化をめざした。
- (ウ) 唐の玄宗は、開元の治によって唐の全盛期を現出したが、安史の乱によって退位した。
- (エ) 唐の太宗は、晩年になって体調がすぐれなくなると、皇后の則天武後に政務を代行させた。
- (オ) 唐の高宗は、新羅と結んで高句麗と百済を滅ぼし、さらに新羅を助けて日本の遠征軍を白村江で撃破した。

③ 土木の変の説明として正しいものはどれか。

- (ア) 中国東北部のツングース系女真族が侵攻し、皇帝や皇族を長城外に拉致した事件である。
- (イ) 宮廷内の宦官と帝位をねらう皇族が長城北の遊牧民と同盟して兵を挙げた皇位篡奪事件である。
- (ウ) モンゴル高原に本拠を移した北元がふたたび攻勢に出て、天順帝を捕虜とした事件である。
- (エ) オイラトのエセン＝ハンが、万里の長城を越えて軍を進めた正統帝を捕虜とした事件である。
- (オ) タタールのアルタン＝ハンが強勢となって明に侵攻し、北京城を包囲、攻撃した事件である。

④ アロー戦争に関する説明として正しいものはどれか。

- (ア) この戦争により、利瑪竇が設計した円明園が破壊され、収蔵品が奪われた。
- (イ) この戦争の結果、キリスト教伝道の自由が認められることとなった。
- (ウ) この戦争により、香港が割譲され、広州・厦門・福州などが開港した。
- (エ) この戦争の結果、イリ条約が結ばれて新疆における清露国境が画定した。
- (オ) この戦争により、英仏連合軍が北京に迫ると同治帝は熱河に逃亡した。

⑤ 袁世凱に関する説明として正しいものはどれか。

- (ア) 袁世凱は、李鴻章が組織した湘軍で活躍し、李鴻章の後継者として清朝の政治を支配した。
- (イ) 袁世凱は、中華民国の大総統から中華帝国の皇帝に即位し、元号を宣統と定めた。
- (ウ) 袁世凱は、朝鮮で義兵闘争が起こると京城府に駐在し、朝鮮の内治・外交を指導した。
- (エ) 袁世凱は、中国同盟会を中心に結成された国民党が台頭すると、その指導者の宋教仁を暗殺させた。
- (オ) 袁世凱は、第一次世界大戦後、日本の大隈重信内閣から提示された「二十一か条要求」を受諾した。

Ⅲ 次の文章 1・2 を読み、下の設問 X・Y に答えなさい。

1 現在のフランスの地は、ヨーロッパの中でも気候が温暖で土地も肥沃であるため、古くから民族移動や多様な文化の混合の場であった。南西部の **A** の洞窟壁画のような旧石器時代の遺跡も多くみられ、有史時代に入ってからさまざまな民族が到来した。とくに言語的にはインド＝ヨーロッパ語族系の西方系言語を話す人々の流入が中心となり、例えば古代ギリシア人が紀元前 6 世紀頃に南フランスに植民をおこない、また内陸ではケルト人が紀元前 5 世紀頃から本格的にこの地に來住するようになった。このころイタリア半島ではローマ人が勢力を伸ばしていたが、ローマ人はケルト人をガリイ（ガリア人）、その居住地をガリアと呼んだ。ローマ人は ポエニ戦争 を契機に西地中海に進出しはじめ、ガリアの一部を属州とした。

紀元前 1 世紀に、ローマのカエサルがガリアの武力征服に乗り出した。カエサルはローマの混乱をしずめていわゆる第 1 回三頭政治をはじめていたが、ローマ属州の安全保障のためと主張して、ガリア遠征をおこなった。この戦況を記したものが『ガリア戦記』である。この中では、ケルト人の風習やガリアの族長ウェルキングトリクスとの攻防戦の様子が詳しく述べられ、古代のフランスに関する重要な史料となっている。カエサルはガリア征服によって独裁的な指導権を獲得したが、そのあとを継いだ オクタウィアヌスがアウグストゥス（尊厳者）の称号を与えられて、ローマは帝政時代に入り、ガリア社会はローマ支配下に組み込まれた。

2 5 世紀頃、ゲルマン部族のなかのフランク人がライン川流域からガリア北東部に進出し、481年に **B** がフランク王国としてこの地を統一した。フランスの名称は、フランク王国に由来するものであり、王国はカール大帝（シャルルマーニュ）時代に最盛期を迎えた。その後、9 世紀に王国は東西フランクとイタリアの三つに分裂し、西フランクがのちのフランスへと発展した。当時フランスは三方から外部勢力の侵入を受けていた。一つは 9 世紀からのイスラーム教徒による地中海沿岸への侵攻であり、また東のマジャール人がフランス東部へ進出した。さらに最大の脅威となったのは、スカンディナヴィアからやってきたノルマン人（ヴァイキング）の侵攻であった。ノルマン人はセーヌ川をさかのぼって内陸深くまで侵攻し、パリを脅かした。このため西フランク王はノルマン人の一部にセーヌ川の河口の一部を与えたが、これが ノルマンディー公国 に発展した。

9 世紀後半の西フランクでは、国王が選挙で推挙されるようになり、セーヌ・ロワール両川の間に基盤をもち、ノルマン人駆逐に功績のあったロベール家のパリ伯ウードが国王に選ばれた。**C** 年に、このウードの孫にあたるロベール家のユグ＝カペーが国王に選ばれてカペー朝を樹立し、即位後すぐに王権を安定させるために長子を後継者に指名した。こうしてフランス独自の王朝としてのカペー朝が開始され、その後フランスでは、歴代王朝の国王がフランスの玉座を世襲していった。そして 1792 年、フランス革命の激動によってこの王政が停止されたが、最後の国王であったルイ 16 世は、カペー家由来のルイ＝カペーという名で呼ばれ、翌年断頭台の露と消えていった。

設問 X 文中の空欄 **A** ～ **C** に入る最も適切な語を、a～d の中から一つ選び、その記号を所定欄にマークしなさい。

- |   |            |       |         |          |
|---|------------|-------|---------|----------|
| A | a ジャルモ     | b ラスコ | c アルタミラ | d ラガシュ   |
| B | a カール＝マルテル | b ピピン | c オドアケル | d クローヴィス |
| C | a 962      | b 977 | c 987   | d 997    |

設問 Y 文中の下線部 ①～⑥ に関する次の問いについて、最も適切な解答を a～d の中から一つ選び、その記号を所定欄にマークしなさい。

① 次の言語の組み合わせの中で、インド＝ヨーロッパ語族系の言語にすべてが含まれるものはどれか。

- |   |        |   |        |   |          |   |         |
|---|--------|---|--------|---|----------|---|---------|
| a | ヒッタイト語 | — | ロシア語   | — | サンスクリット語 | — | ルーマニア語  |
| b | トルコ語   | — | ポーランド語 | — | アイルランド語  | — | スペイン語   |
| c | ヘブライ語  | — | アッシリア語 | — | ポルトガル語   | — | アルメニア語  |
| d | アラビア語  | — | ペルシア語  | — | ブルガリア語   | — | フィンランド語 |

- ② ポエニ戦争に関連して述べた次の文の中で、誤っているものはどれか。
- a ポエニとはラテン語でフェニキア人を指す言葉である。
  - b 第1回ポエニ戦争では、ローマが勝利し、シチリア島を獲得した。
  - c 第2回ポエニ戦争では、カルタゴの将軍ハンニバルがイタリアに進軍し、ザマの戦いでローマのスキピオ軍を撃破した。
  - d 第3回ポエニ戦争では、ローマ軍がカルタゴの街を徹底的に破壊した。
- ③ 帝政期のローマ皇帝について述べた次の文の中で、誤っているものはどれか。
- a ハドリアヌス帝はローマ帝国内を視察し、ブリタニアに長城を築いた。
  - b マルクス＝アウレリウス＝アントニヌス帝はストア派哲学者で、哲人皇帝とも呼ばれる。
  - c デイオクレティアヌス帝はキリスト教徒に対して大迫害をおこなった。
  - d ユリアヌス帝はキリスト教の布教を推し進め、国教化への道を開いた。
- ④ ノルマンディー公国に関連して、次の国の中で、ノルマン人が建設した国にあてはまらないものはどれか。
- a モラヴィア王国      b キエフ公国      c 両シチリア王国      d ノヴゴロド国
- ⑤ フランス歴代の王朝と国王に関連して述べた次の文の中で、誤っているものはどれか。
- a カペー朝のフィリップ4世は、聖職者への課税問題をめぐり、教皇ボニファティウス8世と対立した。
  - b カペー朝のシャルル7世は、ジャンヌ＝ダルクの活躍によって、ランスで国王の戴冠式をおこなった。
  - c ヴァロワ朝のフランソワ1世は、イタリア戦争で神聖ローマ皇帝カール5世と戦った。
  - d ブルボン朝のアンリ4世は、1598年にナント王令（勅令）を發布した。
- ⑥ 1792年における王政の停止に関連して、次の文の中で、1792年に起きた出来事にあてはまらないものはどれか。
- a ジロンド派内閣により、オーストリアに宣戦布告がなされた。
  - b 立法議会に代わって国民公会が設立され、第一共和政が成立した。
  - c ヴァンデー県を中心に、フランス西部で農民反乱がおこった。
  - d フランス軍が、ヴァルミーの戦いでプロイセン・オーストリア連合軍に勝利した。

IV 次の文章を読み、設問 X・Y に答えなさい。

1919年8月にイギリスの保護国から独立したアフガニスタンは、第二次世界大戦後は立憲君主制のもと、東西両陣営とのバランスをとった外交を展開していたが、<sup>①</sup>1973年8月、クーデタにより共和制に移行した。アフガニスタン共和国はイスラーム主義者を弾圧し、ソ連寄りの政策を展開したが政権は安定しなかった。1979年12月、ソ連軍は親ソ派勢力を支援するため、アフガニスタンの首都（ア）を制圧し、さらに翌年1月までに親ソ派政権を樹立して主要都市を占領した。これに対してアメリカ合衆国が強く反発したため、「第2次冷戦」の始まりとも言われた。

1960年代から停滞していたソ連経済は、アフガニスタン侵攻でますます深刻化した。1985年にソ連共産党書記長に就任したゴルバチョフはペレストロイカを実行するとともに、外交では「（イ）外交」を展開し、アメリカとの核軍縮交渉、<sup>②</sup>中国との和解とともに、1989年2月にアフガニスタンからの撤退を完了し、冷戦終結への道を開いた。その気運のなかで、ゴルバチョフは複数政党制や市場経済の導入を試みたが、食糧不足など多くの困難が生じた。1991年2月には、保守派の一部がクーデタを企てたが、エリツインらの反対などで失敗に終わり、ソ連共産党も解散した。そして12月、ロシアを中心にウクライナやベラルーシなどの11の共和国が独立国家共同体を結成し、これによってソ連は解体した。<sup>③</sup>

一方、アフガニスタンではソ連の侵攻に対してイスラーム勢力のゲリラ活動が活発化し、これをアメリカが援助した。ソ連軍が撤退してからもアフガニスタン内戦が続いたが、1996年にイスラーム主義を信奉するターリバーンが政権を掌握し、2001年3月には<sup>④</sup>バーミヤーン石窟をイスラームの偶像崇拜禁止規定に反しているとして破壊した。これはターリバーンへの非難が強まるきっかけとなった。

2001年9月、アメリカでイスラーム過激派による同時多発テロ事件が発生し、多数の死傷者が出た。これに直面した（ウ）大統領は、この事件はターリバーンが保護してきた（エ）が実行したとして、同年10月からアフガニスタンを攻撃した。ターリバーン政権は打倒され、アメリカに協調的な政権がつけられたが、腐敗の横行、経済の停滞などさまざまな問題がひろがった。

アフガニスタンに隣接する<sup>⑤</sup>パキスタンはアフガニスタンのターリバーンを支援していたが、2001年の同時多発テロ以後、アメリカの強い圧力を受けて政策を転換し、イスラーム過激派と対決するようになった。しかし政府は過激派の活動を抑えきれないでいる。アメリカはさらにイラクの（オ）政権が国際的なテロ行為にかかわっていると主張し、2003年3月、イラクへの武力攻撃を行ない、同政権の打倒に成功したが、その後もイラクでは緊張状態が続き、安定した統治はきざかれていない。

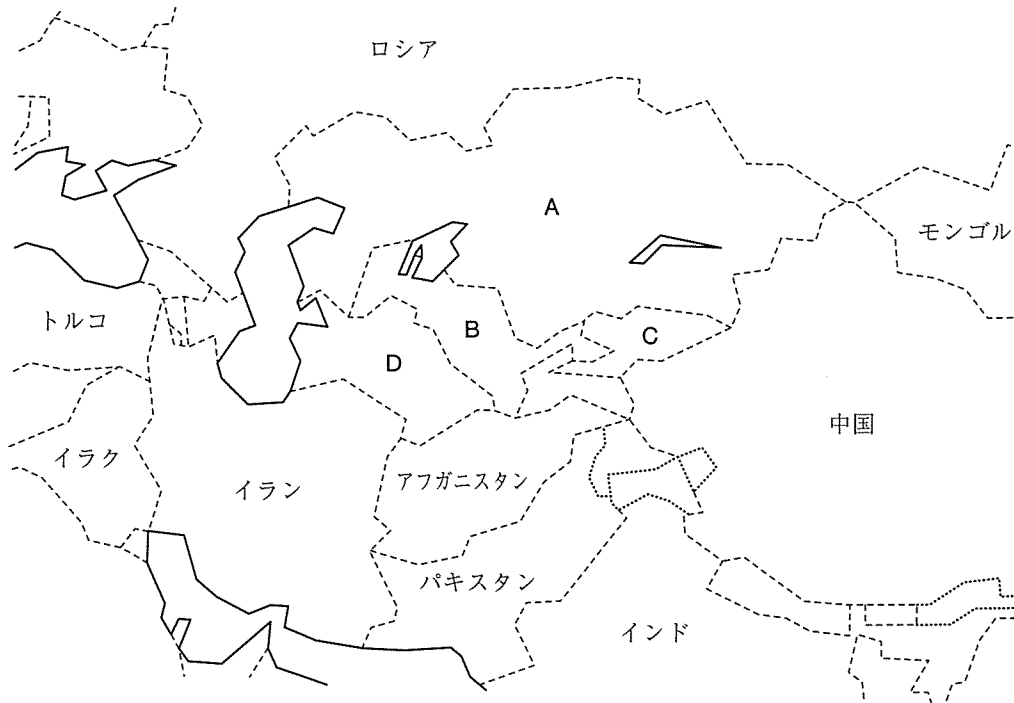
設問 X 文中の空欄（ア）～（オ）に入る適切な語を一つ選び、その記号をマーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- |       |      |   |          |   |       |   |         |
|-------|------|---|----------|---|-------|---|---------|
| (ア) a | カーブル | b | ガズナ      | c | カラチ   | d | アスタナ    |
| (イ) a | 善隣   | b | 新思考      | c | 全方位   | d | 東方      |
| (ウ) a | ケネディ | b | クリントン    | c | レーガン  | d | ブッシュ    |
| (エ) a | バース党 | b | ファタハ     | c | ハマース  | d | アル＝カーイダ |
| (オ) a | ホメイニ | b | ビン＝ラーディン | c | サーリーフ | d | フセイン    |

設問 Y 文中の下線部①～⑤に関する下記の設問について、最も適切な解答を一つ選び、その記号をマーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ① アフガニスタンについての説明として誤りを含むものはどれか。
- a 18世紀なかごろ、イランとインドの弱体化によって自立したアフガン人は、アフガン王国を成立させた。
  - b アフガン王国は19世紀にはいると、東部の領有権を主張するインドのカージャール朝の侵攻を受けた。
  - c 1838年、イギリスはロシアの南下に対抗するため、英領インドから出兵してアフガニスタンに侵攻した。
  - d イギリスは1880年にアフガニスタンを侵略し、保護国とした。

- ② 中国との和解のためゴルバチョフは1989年5月に北京を訪問したが、その時期の中国の状況の説明として正しいものはどれか。
- a 学生、市民など多数の人々が天安門広場に集まり、政治の民主化を求めている。
  - b 鄧小平が中国南部を視察しながら、市場経済を利用して経済発展をめざす政策を打ち出した結果、経済成長が進行していた。
  - c 人民公社の解体と農業生産の請負制、経済特区の設置など一連の経済改革が始まった。
  - d イギリスから中国に返還された香港で、一国二制度方式での運営が行なわれていた。
- ③ 次の地図はソ連解体後の中央アジアを中心とした地域の状況を示している。地図上のA～Dの国名の組み合わせとして正しいものはどれか。



- a A－タジキスタン      B－ウズベキスタン      C－アルメニア      D－キルギス
  - b A－ウズベキスタン      B－カザフスタン      C－キルギス      D－タジキスタン
  - c A－アゼルバイジャン      B－カザフスタン      C－トルクメニスタン  
D－ジョージア（ゲルジア）
  - d A－カザフスタン      B－ウズベキスタン      C－キルギス      D－トルクメニスタン
- ④ バーミヤーン石窟を7世紀の前半に訪れた唐の僧に玄奘がいる。玄奘についての説明として正しいものはどれか。
- a 仏典保存のため洛陽に大雁塔を建立した。
  - b 唐の太宗への報告書として西域の旅行記『大唐西域記』を著した。
  - c パンディヤ朝のハルシャ王の厚遇を受けて、ナーランダー僧院で学んだ。
  - d 唐の太宗の勅命により経典の翻訳につとめ、これによって浄土宗を開いた。
- ⑤ パキスタンに関する説明として誤りを含むものはどれか。
- a 全インド＝ムスリム連盟の指導者ネ＝ウインを初代総督として1947年に独立した。
  - b 独立時にはインドをはさんで東西に領土をもっていたが、1971年に東パキスタンがバングラデシュとして独立した。
  - c インドとの間でカシミール地方の帰属をめぐる紛争が存在し、今日も未解決である。
  - d 国内にはインダス文明の最大級の都市遺跡であるモエンジョ＝ダエロがある。



V 下の文を読み、設問X・Yに答えなさい。解答は、与えられた選択肢から最も適切なもの一つを選び、その記号をマーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

2016年6月、イギリスは国民投票によってEU残留ないし離脱の選択を問い、国民は離脱を選んだ。この決定は短期的に為替相場に大きな影響を与えただけでなく、長期的に世界的な経済の回復にも悪影響を及ぼしかねないと懸念されている。

そもそもイギリスはEUの前身ECの発足メンバーではない。ECの前身であるEEC成立後、イギリスは「大英帝国」とも呼ばれた、<sup>①</sup>イギリスを宗主国とする植民地帝国から転じたイギリス連邦の権益を守るべく、国際的な経済同盟（A）を結成し、EECに対抗する姿勢さえ示していた。しかしほどなくEECの重要性を認識したイギリスは、EECへの参加を望むようになった。ところが、当時のフランス大統領（B）は、イギリスのEEC加盟に強く反対し、EECからECへの改組が完了した後の<sup>③</sup>（C）になってようやく、イギリスは加盟を果たした。

その後、<sup>④</sup>ECが政治・経済双方での統合志向をより強めたEUとなり、共通通貨導入を決めた後も、イギリスは共通通貨を導入せず、独自の立場でEU内での経済的繁栄を享受していた。

今回、イギリス国民がEU離脱を選択するに至った重大な要因の一つは、EU域内国間の移動・居住の自由に基づく、（D）などからの移民の増加であるが、これは、EUが2004年、大きくその範囲を拡大し、（E）など、旧ソ連領の国にまで広がったことからの、一つの帰結である。

これまで、参加国に経済的繁栄を約束する組織として拡大を続けてきたEUだが、各国で様々な自国中心ないし民族主義的主張があらわになりつつある現在、自らの行く末を見定めるべき重大な局面にさしかかっていると見えよう。

設問X 上の文中の（ ）にあてはまる語を選びなさい。

- |   |   |       |   |        |   |       |   |       |
|---|---|-------|---|--------|---|-------|---|-------|
| A | a | EFTA  | b | ANC    | c | IBRD  | d | OSCE  |
| B | a | ベタン   | b | ド=ゴール  | c | ミッテラン | d | ポワンカレ |
| C | a | 1961年 | b | 1967年  | c | 1969年 | d | 1973年 |
| D | a | ロシア   | b | アイスランド | c | ポーランド | d | トルコ   |
| E | a | エストニア | b | ウクライナ  | c | ベラルーシ | d | モルドヴァ |

設問Y 上の文中の下線部に関して、それぞれの問いに答えなさい。

- ① ECの発足メンバー国に関わることがらの説明として誤っているものを、下の文から選びなさい。
- a 1950年、フランスの外相シューマンは、国際的な石炭と鉄鋼の共同管理を提案し、そこからECの萌芽的組織の一つが生まれた。
  - b 1957年、ECの前身であるEEC設立のための会議がイタリアのローマで開かれ、設立メンバー国首脳が設立条約に調印した。
  - c ドイツ連邦共和国はEECのメンバーとなったこともあって、奇跡的な経済復興を遂げた。
  - d ルクセンブルクは大国の狭間で<sup>はごま</sup>国家存続に苦しんだ歴史から、軍事的中立を守ることを国是としており、NATOには加盟していない。
- ② 「大英帝国」ないしイギリス連邦に関わることがらの説明として誤っているものを、下の文から選びなさい。
- a イギリス帝国会議の決議によって1931年、ウェストミンスター憲章が成立し、イギリス帝国の各自治領は本国と対等の立場でイギリス連邦を構成することになった。
  - b イギリス連邦経済会議は1932年夏、連邦内商品を無税もしくは低関税扱いとし、連邦外商品には高関税を課す、特惠関税制度導入を決定した。
  - c イギリスは1602年に株式会社組織の東インド会社を設立し、ジャワ島のバタヴィア（現ジャカルタ）を根拠地に、香辛料貿易の実権を握った。
  - d 「フレンチ=インディアン戦争」に勝利したイギリスは、1763年のパリ条約で、カナダとミシシッピ川以東のルイジアナ、フロリダを獲得した。

- ③ フランスがイギリスのEECおよびEC加盟に反対した背景には、当時の東西両陣営対立があった。当時のヨーロッパ各国に関わることがらの説明として誤っているものを、下の文から選びなさい。
- a 1945年7月、イギリスでは労働党内閣が成立し、1951年まで続いたが、この政権も、チャーチル以来のアメリカとの同盟関係を維持し続けた。
  - b 1948年、西ヨーロッパ連合条約の締結に続いて、翌1949年、アメリカ合衆国も加わって、西側12カ国の軍事同盟機構であるNATOが発足した。
  - c フランスはホーチミン率いるベトナム共和国を認めず、これと交戦を続けたが、1954年、ディエンビエンフーで大敗したことをきっかけに、インドシナから撤退した。
  - d 1964年、フランスは中華人民共和国を承認し、1966年にはNATOへの軍事協力を拒否するなど、東西陣営対立の枠組みにとらわれない、独自の立場を主張した。
- ④ ECからEUへの改組に関わることがらの説明として誤っているものを、下の文から選びなさい。
- a 1979年、EC内でのヨーロッパ共同通貨実現を目指す第一歩として、ヨーロッパ通貨制度（EMS）が作られた。
  - b 1986年、ECの市場統合完成を目指して、単一ヨーロッパ議定書が作成された。
  - c 1992年、EC加盟各国はマーストリヒト条約に調印した。これは、経済・通貨統合のさらなる推進と、ヨーロッパ共通市民権や共通外交・安全保障政策の追求を目的とするものである。
  - d 1993年、マーストリヒト条約発効によりEUが生まれた。EUは1999年にはユーロを導入、2002年には基本条約（リスボン条約）発効により、政治的統合をさらに深めた。
- ⑤ ECおよびEU拡大に関わることがらの説明として誤っているものを、下の文から選びなさい。
- a 1981年にはギリシア、1986年にはスペインとポルトガルがECに加盟したが、これはこの3カ国で1970年代に政治体制が民主化し、EC加盟の条件が整ったことによる。
  - b 1989年以降、急速に市場経済に移行した東欧の旧社会主義諸国は、EC加盟を強く希望したが、EC側は、加盟基準を定め、それが達成されるまでは加盟を認めないとした。
  - c 2004年、東欧の旧社会主義諸国10カ国が一举にEUに加盟した。
  - d 2005年以降、拡大の速度はやや鈍ったが、いわゆる加盟候補国からルーマニアとブルガリア、さらにはクロアチアが加盟を果たし、2013年、EU加盟国は28カ国となった。

[以下余白]